

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

難しい相場では「打診売買」が最適！



なかなか相場が下げ止まらない。米雇用統計確認後の今週は日経平均株価がとうとう年初来安値を更新するなど、外部要因主導の調整とはいえ、金融緩和を追い風とする年初からの上げ幅を失ってしまった。

一方で、前回コラムで「『5月売り』のなかでも狙える投資対象とは？」と題して、外部要因に左右され難く、成長路線を邁進する「新興市場株」を推していたが、先週提供したレポート銘柄では、早くもピーエスシー（3649）、日本メデイカルネットコミュニケーションズ（3645）が目標株価となる10%上昇率を達成するなど、行き場を無くした短期資金が新興市場に流れ込んでいる。

さて、この相場調整も4月上旬のチャート軟化から続くもので、調整期間はおよそ2カ月、1月半ばから3月後半にかけての上昇期間と符号する。外部要因を中心とする相場の悪材料は着実に織り込まれている見るべきで、相場が「さえないから」と見送りを決め込んでいれば、今後予想される反騰局面を見逃すことにも成りかねない。少額からの打診売買でも相場に臨んでいくべきだろう。

そこで弊社では、値頃感のある「20万円以下」の銘柄を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。昨年11月にも提供し、提供5銘柄がすべて目標株価となる10%上昇率を達成した実績テーマだ。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。